

# 特別委員会の

# 最終・中間報告(要旨)

今臨時会で、少子化対策調査特別委員会、自立支援調査特別委員会は、調査を終了し最終報告を行いました。

また、交通網・都市基盤整備調査特別委員会、観光振興調査特別委員会が中間報告を行いました。

報告の要旨は次のとおりです。

## 少子化対策調査特別委員会

本特別委員会は「子育て支援施策」「子育てしやすい環境の整備」「子育てしやすい社会づくりへの意識啓発」に関する調査研究を進めてきました。

総合的に子育て支援策を講じていくべきでありますが、中でも、子育て家庭の経済的負担を軽減するための支援が、重要な施策となります。

しかし、経済的支援に対する区民ニーズは多様であり、国の制度に大きく影響されますが、区独自に負担軽減策を充実していくことが求められます。



子育てしやすい環境の整備について  
保育需要が増している地域も

あり、今後も弾力的対応や、保育所の誘致等、待機児解消対策を進める必要があります。

そのため、家庭福祉員(保育ママ)の拡充等の様々な保育サービスの充実が求められます。

また、「放課後子ども教室」では、学童保育との連携・協力が不可欠です。

子育てしやすい社会づくりへの意識啓発について

子どもを生み育てやすい環境づくりは、行政だけでなく医療機関、地域社会、企業等、社会全体で支援していくことが求められます。

少子化対策においては、就労環境の整備や働き方の見直しも不可欠なものであり、社会的責任を果たす企業の取り組みや意識改革が必要です。

最後に、足立区の未来を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つ環境が整備されることを強く願い、本特別委員会の報告とします。

## 自立支援調査特別委員会

本特別委員会は、「低所得者層の自立支援」「生活保護制度」「生活保護の適正実施」に関する調査研究を進めてきました。

低所得者層の自立支援について  
「リバースモーゲージ(長期生活支援資金貸付制度)」の導入

「自立支援教育訓練給付金」等の活用が図られています。委員からは、支援内容のさらなる

充実を求める意見がありました。生活保護制度および生活保護の適正実施について

区では、不正受給等の防止に向け、税務調査等のほか、児童・民生委員と連携し、被保護世帯の実態把握に取り組んでいます。

しかし、現行の法規制の下、未申告収入や表面化しない稼働実態の存否を明らかにすることは限界があります。

被保護世帯の実態を把握するには、調査内容を拡充する必要があります。不正受給等の疑義が生じた場合には、発生要因を分析し、徹底的に予防する

方策を構築していかねばなりません。また、一部の就労意欲に乏しい受給者に対して、多くの委員から厳正に生活保護制度が運用されるべきであるとの意見がありました。

区の就労支援施策は高く評価されているとのことですが、これらの施策が多く

の被保護者の就労と自立へ結びつくことを期待します。

最後に、多くの被保護者が自



最後に、多くの被保護者が自

立するとともに、セーフティネットである生活保護制度が、多くの区民に理解され、より一層厳正に実施されることを要望し、本特別委員会の報告とします。

## 交通網・都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

日暮里・舎人ライナーについて

平成20年3月30日に念願の開

路線の開設・延伸への要望も強いことから、バス事業者へ積極的に働きかけを行い、今後も検討を重ね、確実に推進していくべきであります。

都市基盤整備の促進について  
西新井駅西口地区は、商業施設等の設置において、地元商店街や住民の意向に十分配慮すべきことが挙げられます。

北千住駅東口は、J-T所有地の一部取得も視野に入れ、賑わい複合施設の誘致を含めた開発を進めていく必要があります。

鉄道及びバス路線網の誘致・拡充や竹ノ塚鉄道立体化の早期実現に向けた活動を推進しつつ、駅周辺整備も含めた都市基盤の整備・充実に向けて、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

観光振興調査特別委員会  
本特別委員会は「地域資源の活用」「観光基盤の整備」「施策の推進体制」「千住地区の回遊性」等に関する調査研究を進めてきました。

最後に、多くの被保護者が自



本会議の様子



バス路線網再編及びコミュニティバスの整備促進について

千住地区の回遊性について  
回遊性を呼び込むには、バス路線等の整備や観光施設のPRが大切となります。産業・観光の拠点としての東京芸術センターをより有効に活用していくことを強く要望します。

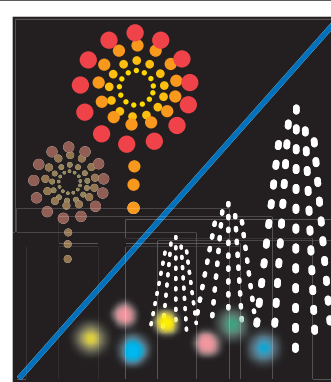
観光基盤の整備について

日暮里・舎人ライナーの開業により、アクセスが便利になった舎人公園の活用が特に重要となります。区は都に対し、公園整備等にあたっては区民の意向を十分取り入れて実施するとともに、整備を円滑に進めるよう強力に働きかけることを要望しました。

地域資源の活用について  
区内観光資源を巡る現地調査や委員によるプレゼンの実施により、委員から多種多様な提案がありました。足立区観光基本計画の目的に沿うものは実現に取り組みよう期待します。

観光振興は、地域経済への波及効果やまちの活性化をはじめ多面的に果たす役割は大きく、区民からも大きな期待を集めています。魅力ある足立区を築き上げることは、区のイメージアップを図る上でも必要不可欠です。

それには、産業や文化・交通環境など様々な分野の施策の展開とともに観光基盤の整備や推



施策の推進体制について

最後に、多くの被保護者が自

進体制の確立が求められます。今後も、これらの施策の動向に注視しつつ、引き続き調査研究を進めていきます。

## 会派の役員紹介

左記のとおり各会派の役員をお知らせいたします。

### 足立区議会自由民主党

- 幹事長 新井 英生
- 副幹事長 古性 重則
- 同 高山 延之

### 足立区議会公明党

- 幹事長 前野 和男
- 副幹事長 たきがみ 明
- 同 あかし 幸子
- 同 たがた 直昭

### 日本共産党足立区議団

- 団 長 鈴木けんいち
- 幹事長 ぬかが 和子
- 副幹事長 大島 芳江
- 同 伊藤 和彦

### 足立区議会民進党

- 幹事長 秋山ひでとし
- 副幹事長 米山 やすし

## 編集後記

5月27日の臨時会では、議長・副議長の改選をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。

また、各会派役員の変更に伴い、広報委員会も新たな委員になりました。現在の広報委員は、次のとおりです。

- 議長 長 くらいらい光治
- 副議長 長 金沢美矢子
- (議会運営委員長) 新井 英生
- 古性 重則 鈴木けんいち
- 高山 延之 ぬかが和子
- 前野 和男 伊藤 和彦
- たきがみ明 秋山ひでとし
- あかし幸子 米山やすし